



# 三重電気会報

平成14年8月発行 第91号



盛夏・花盛り（高鷲村・牧歌の里）伊勢支部 三上 昇氏 撮影

平成十四年度

# 通常総代会開催

五月二十二日、三重電気  
会館（新館）において、第  
三十七回工業組合通常総代  
会を開催した。

総代九十八名中九十三名  
(委任出席十六名) が出席、  
また顧問(株)トーエネック渡  
部英晴理事三重支店長及び、



あいさつする植田理事長

引続き重任となつた植田  
理事長の挨拶、新執行部の  
常任)が決定し、承諾就任  
した。

昼食をはさみ開催された  
理事会において役職(三役・  
のとおり新役員が選出され  
た。

第一号議案より順次提案  
審議、質疑応答の後、原案  
通り可決承認された。

第六号議案の役員改選は、  
選考委員による指名推選の  
方法により選出することと  
なり繁田義久氏始め五名の  
選考委員により選考、議長  
より選考の結果が発表され、  
満場一致で承認され、別項  
のとおり新役員が選出され  
た。

紹介、関連事業の報告、承  
認をもつて十三時二〇分終  
了した。

続いて、十三時四十五分  
から第五十七回協力会通常  
総代会を開催、顧問中部電  
力㈱取締役三重支店長木下  
昭一様はじめ、参与の皆様  
ご臨席のもと、上野支部石  
原理事の司会により開会、  
議長に繁田理事を選出、議  
案審議に入った。

第一号議案より順次提案  
審議、原案通り可決承認さ  
れた。役員改選についても  
工組総代会と同様指名推選  
により満場一致で承認され  
た。

第一号議案より順次提案  
審議に入った。

第一号議案より順次提案  
審議、原案通り可決承認さ  
れた。役員改選についても  
工組総代会と同様指名推選  
により満場一致で承認され  
た。

終わって別項のとおりそ  
れぞれの表彰を執り行い、  
十四時三十五分終了した。



総代会風景



## 各委員長の抱負



総務委員長  
織田 雅夫

総務委員長に

就任して

事業計画、予算、決算等重要な案件は全員参加委員会としその他総務担当委員と、広報担当委員に分け必要に応じ分業運営としたいと思っておりますが、現在年三回発行しております会報も、もう少し内容を充実し、年二回にしてはと考えております。

今期、総務委員長を拝命致しました織田でございま  
す。何分急なお話で、何も  
勉強することもなくお引き  
受けすることになりました。  
昨年迄五委員会あつた委  
員会が三委員会になり当總  
務委員会も広報委員会と合  
併し、総勢十二名と云う大  
世帯となりました。

総務委員会の度に全員集  
合するのもどうかと考え、

も三設連を通じて分離発注の促進に努力していただいているが、何となく、陳情のみ進んでおり、受皿である我々業界各会員の体质強化は進んでいるのであるが、心もとないかぎりです。各団体によって得手、不得手があるのは当然でありますから、我々電気工業組合でないと出来ない事も沢山あると感じております。当委員会に於ても、土法、業法の認識を深める為担当者を決めより深く勉強し、分離発注に貢献して行きましたとえます。

## 総務委員会役員体制

|             |     |
|-------------|-----|
| 総務委員会担当副理事長 |     |
| 楠修次         |     |
| 織田雅夫        |     |
| 飯田秀爾        | (総) |
| 三井徳男        | (法) |
| 伊藤満三        | (法) |
| 繁田義久        | (広) |
| 石原和夫        | (広) |
| 森井貞彦        | (広) |
| 森本恭弘        | (総) |
| 西野勇藏        | (法) |
| 倉田 隆        | (総) |
| 太田一雄        | (総) |
| 大森孝介        | (総) |

八九  
総務  
法、業法  
広報

提案型技術営業



技術経営委員長  
伊藤 満三

さて、私たち電気工事業界も厳しい経済環境下、それぞれの組合員さんが知恵をしぼってがんばっていた。だいているところですが今、各業界、各企業では、新しい事業の創設をめざしてそれぞれの垣根をこえた新規参入を図りその取り組みによって、業界格差、企業格差が顕在化している状況で

このような中で組合として、昨年から提案型技術営業の施策の一環として「でんき元気」キャンペーンの説明会等を実施してまいりました。

楠総務担当副理事長を中心  
に、我々総務委員結束して  
事業に当って参る所存で  
ございますので、会員の皆  
様のご協力を心からお願ひ  
致します。最後に、先に申  
し上げました担当委員名を  
記し参考と致したいと思ひ  
ます。

化による事務処理能力の向上により各支部との連絡強化等が進み、各支部共事務の省力化が推進されるものと考えられます。

又、広い会議場も建設され出来得る限り有効に運営され、広く関連団体に利用していただけるようPRしたいと思います。

この度、委員会の効率運営と経費削減のため技術委員会と経済委員会の合併により技術経営委員会が発足し、初代委員長を拝命いたしました。技術・経済ともに組合の根幹をなすもので大変な重責を感じております。

ております。技術経営委員会としても、これをサポートし、「でんき元気」キャンペーングループによる情報の収集と研修等によりさらにより多くの情報と施策を提案してまいりたいと考えております。組合情報化の推進





通常総会風景（議長・内山 茂氏）

六月七日 三重電気会館（新館）において、三重県電気工業組合青年部会の第二十一回通常総会を開催しました。

七十九名（内委任出席四

十八名）が出席、来賓として植田理事長・楠副理事長が出席、挨拶の後、内山桑員ブロック長が議長となり議案審議に入った。

「平成十三年度事業報告

## 平成十四年度 青年部通常総会開催

及び収支報告承認」「平成十四年度事業計画案及び収支予算案の承認」など提出議案について原案通りすべて可決承認された。

また、新会員も前年度に比べ五名増加し、総勢百二十二名となつた。

引続き、役員改選を行い、新任として伊賀ブロック長

は前年度と同様、川合会長始め重任となつた。休憩の後、楠アルファ通信ネットワーク推進事業部の渡部圭氏により「これから

の通信工事業・電気工

に上野支部の谷高志氏、伊勢・志摩ブロック長に西山元弘氏・監事に津支部の和田浩実氏が選出された他

は終わって、場所を津都市に移し、懇親会を開催、和氣あいあい、盛会に行われた。

### 顧問・参与の異動

14・7・1

（顧問）

山本 豊（中部電力㈱ 取締役三重支店長）

森田 亮行（㈱中部電気管理技術者協会三重支部長）

14・4・1  
（協力会 参与）

14・7・1

|                            |
|----------------------------|
| 服部 勝（中部電力㈱ 支配人三重支店副支店長）    |
| 熊谷 廣一（中部電力㈱三重支店 総務部長）      |
| 若畑 一男（中部電力㈱三重支店 松阪営業所長）    |
| 明慶 達昭（中部電力㈱三重支店 尾鷲営業所長）    |
| 山口 富士夫（中部電力㈱三重支店 営業部営業課長）  |
| 高橋 一浩（中部電力㈱三重支店 営業部営業担当副長） |
| 小林 重之（㈲中部電気保安協会 三重支部長）     |

### =安全推進運動標語=

慣れた作業も 基本を守って ゼロ災害

よき笑顔 今日も一日 安全で

誓います 無事故作業で ゼロ更新



三重県消防・保安チームマネージャー 前田勝明氏挨拶

# 三重電気会館 竣工披露式典を盛大に挙行

平成十四年五月二十二日 念願の三重電気会館竣工披露式典と祝賀会を多数の来賓及び業界関係者を招待して挙行した。

当日は、工業組合・協力

会の総代会を実施、これに引き続き挙行した。式典では、植田理事長が式辞として「多くの業界関係者の皆様に多大の祝意を賜りましてことについてまず感謝の

意を表した後、会館の運営について「仏つくて魂入れず」ではないと「今後は、各種講習会・新技術研修等を積極的に実施すると共に広く内外にPRし、有効活用して行きたい」と述べた。

続いて、川瀬副理事長が工事の経過以下のとおり報告。「新会館の総工費は九千九百五十五万円。旧会館の跡地に建設。平成十三年十月十二日に着工し、十四年四月二十日に完成した」

また同時に、設計を担当した坂倉一級建築士事務所や建築担当の㈱中村組など工事を請け負った関係者に感謝状が贈られた。

来賓としては、中部経済産業局の吉田盛厚資源エネルギー部長、前田勝明三重県地域振興部消防・保安チ

ムマネージャー、木下昭一中部電力㈱三重支店長、加藤金太郎全日本電気工業事業工業組合連合会副会長・中部電気工業組合連合会会長がそれぞれ祝辞を述べた。

このなかで加藤副会長は「新会館は、講習会や研修会の会場として最適だ。また全日電工連が現在進める提案型技術営業、「でんき元気」キャンペーントリニティ部長、前田勝明三重

館の誕生を祝った。



建設工事関係者へ感謝状贈呈

自ら仕事を作り出す場としてふさわしい会館だと祝辞を述べた。岡野副理事長が「閉会のことば」を述べ式典を終了した。

続いて場所を移し、祝賀会が開かれ、楠副理事長の挨拶、続いて㈱百五銀行前田肇代表取締役頭取が祝辞を述べ、次いで顧問、中川正美県議会議員の乾杯のご発声により懇談となり新会

## 植田理事長

# 黄綬褒章受章の栄誉を称える 祝賀会が盛大に開催

平成十四年度春の褒章に  
より植田理事長が黄綬褒章  
受章の栄に浴されました。

植田理事長が永年に亘り関  
係各種団体の要職にあって  
業界の発展に尽力された功  
績によるものであります。

業界の歴史に大きな足跡

を残されたことは、ご本人  
を始めご一門の名譽は、勿  
論のこと、私達の業界にとつ  
てもこの上もない栄誉であ  
り、且つ誇りとする処であ  
ります。

この栄誉を称えると共に  
今後一層のご活躍を祈念し、  
業界をあげて祝賀会の開催  
を計画し、七月五日伊勢市  
「三重厚生年金休暇センター」  
に於いて関係諸官庁を始め、  
中部電力㈱常務取締役販売

関係団体、業界代表者等一  
四〇余名のご出席を賜り盛  
大に開催されました。

岡野副理事長による開式

のことばに続き楠発起人代  
表による挨拶、司会者によ  
り植田理事長のプロフィー  
ルを紹介、ご来賓を代表し  
て中部経済産業局資源エネ  
ルギー部次長飯沼輝宏様、  
三重県議会議員中川正美様、  
十五分間の休憩の後、祝  
宴となり伊勢支部三上副支  
部長の開宴のことばに続き  
株百五銀行代表取締役頭取  
前田肇様から祝辞が述べら  
れ、中部電気工事協力会連  
合会会长松本亥生男様の乾



植田理事長謝辞

本部長、野田泰弘様、  
全日本電気工事業工業組合連合会副会長  
加藤金太郎様がそれ  
ぞれ祝辞を述べられ  
た。続いて、ご来賓  
のご紹介、業界各種  
団体からの記念品の  
贈呈が行われ、この  
御礼のことばが概ね  
次のように述べられ  
た。

「この度、はからず  
も黄綬褒章受章の栄  
に浴し、身に余る光榮と感  
激いたしております。これ

もひとえに皆様方の温かい  
ご支援の賜ものと心から厚  
く御礼申し上げます。さて、

私達の電気業界も大変厳し  
い環境にあり、今、大きな  
変革が求められているかと  
思われます。このような中、  
この度の褒章受章に甘える

も増して、ご高配とご指導  
をお願い申し上げます。」

出席者皆様の大きな拍手  
によって永年の功績と栄誉  
を祝福した。川瀬副理事長  
の閉式のことばにより式典  
を終えた。



中川顧問祝辞

(9面へつづく)



お孫さんからの花束贈呈

(8面よりつづく)  
杯によって祝宴がスタートした。

少しおいて、声楽家・川野映子さんの童謡「はまべのうた」をはじめ四曲が披露され和やかな歓談の輪が広がった。大変盛り上がりのなか、可愛いお孫さん三人「裕太郎君」「育弥君」「実凪ちゃん」から花束贈呈があり、理事長・美代子夫人のお二人とも目を細めていました。

閉宴にのぞみ、ご子息の植田幸成さんが御礼のことばを述べ、飯田常任理事による閉宴のことばで締めくくり祝賀会を終了した。



上野支部の皆さん



挨拶する石原支部長



上野支部例会風景

## 上野支部

六月十九日、上野支部の  
(内中電上野営業所長以下)

三名)が来館され三重電気  
会館二階大会議室で例会を開催した。

当日は、梅雨の晴れ間の好天に恵まれ、観光バス一台に便乗し、午前十時到着。初めに、植田理事長、楠副理事長が歓迎の挨拶と自己紹介を実施、その後、上野支部により例会を開催した。

十二時、植田理事長、楠副理事長、鈴木事務局長が

同席し、昼食をとりながら懇談を行い暫時休憩の後、厚生年金基金・国民年金基金・東海電友共済会など福利厚生関連及び増資について説明と質疑応答を実施した。

終わって十三時三十分頃、次の研修先、松下電工(株)津工場へ向けて出発した。その後、榎原温泉で入浴と会食をし親睦会を開いたと聞いております。役員の皆様ご苦労様でした。

(本部事務局)

## ▶会員異動のお知らせ◀

前号以降の会員異動は下記のとおりです。名簿の追加修正をお願いします。(事務局)

| 支部  | 種別   | コード番号    | 事業所名          | 代表者   | 住所              | 電話番号         | 郵便番号     | 登録(届出)番号   |
|-----|------|----------|---------------|-------|-----------------|--------------|----------|------------|
| 富田  | 退会   | 34311    | 扇電気           | 梶 昭夫  | 三重郡川越町高松1008-1  | 0593-64-1565 | 510-8121 | (届出)52-7   |
| 津   | 退会   | (協)31066 | 南北川シャープ電化センター | 北川春美  | 津市新立町54-2       | 059-228-6349 | 514-0024 | 13-299     |
| 大台  | 承継加入 | 32334    | 南ナカムラ電気設備     | 中村徹也  | 度会郡度会町長原390     | 0596-64-0082 | 516-2115 | 12-30      |
| 松阪  | 承継加入 | 32166    | (南)逸光電気       | 宮崎逸巳  | 松阪市幸生町529       | 0598-52-2045 | 515-0013 | 11-85      |
| 松阪  | 承継加入 | 32065    | 小林電気          | 小林光博  | 松阪市垣鼻町807       | 0598-21-2371 | 515-0033 | 13-169     |
| 松阪  | 承継加入 | 32013    | 奥出電気商会        | 奥山秀之  | 多気郡多気町田中121-1   | 0598-37-2637 | 519-2165 | 13-113     |
| 松阪  | 承継加入 | 32014    | 鍛形電気工業所       | 八重口久俊 | 多気郡多気町鍛形29-2    | 0598-38-2012 | 519-2187 | 13-135     |
| 松阪  | 承継加入 | 32075    | (南)新光電設工業所    | 長崎学   | 一志郡嬉野町大字黒野1274  | 0598-42-2303 | 515-2334 | (届出)51-129 |
| 富田  | 承継加入 | 34321    | 山本電機商会        | 山本栄子  | 四日市市大字羽津戸465    | 0593-65-7674 | 510-0012 | 13-108     |
| 四日市 | 変更   | 34057    | 石黒電気工務店       | 石黒幸三郎 | 四日市市北浜田町1-24    | 0593-53-5656 | 510-0062 | 14-53      |
| 鳥羽  | 変更   | 33323    | 山下電設          | 山下政由  | 鳥羽市答志町408       | 0599-37-2150 | 517-0002 | 14-21      |
| 四日市 | 変更   | 34062    | (株)メック        | 村山篤   | 四日市市尾平町1779-5   | 0593-32-5966 | 512-0921 | (届出)90-4   |
| 久居  | 変更   | 31315    | 吉村電気工事㈱       | 吉田尚子  | 久居市中町297-8      | 059-256-6688 | 514-1107 | (届出)51-47  |
| 四日市 | 変更   | 34080    | 株オクダ電機商会      | 奥田和良  | 四日市市西日野町4986-3  | 0593-21-3381 | 510-0943 | (届出)51-8   |
| 鳥羽  | 変更   | 33318    | 小寺デンキ         | 木下美喜雄 | 鳥羽市菅島町52        | 0599-34-2005 | 517-0004 | (届出)97-7   |
| 伊勢  | 変更   | 33154    | (南)ステップシモクラ   | 下倉啓一  | 度会郡南島町東宮宇豆方83-3 | 0596-72-0005 | 516-1309 | 10-133     |
| 四日市 | 変更   | 34185    | 東電工業㈱         | 栗田雅雄  | 三重郡朝日町繩生569-1   | 0593-55-9606 | 510-0064 | (届出)99-12  |

### お問い合わせ先

三重県電気工事業工業組合  
事務局  
TEL 059-226-4862  
FAX 059-226-4869  
E-mail miedkuni@ztv.ne.jp

らくは、事故による保険金の支払われ方についてあります。皆様方にかけ金の中は支払かない

なくそう  
誤結線  
厚生委員会